

6 横浜市の計画と「横浜国立図書館運営実行プラン」

(1) 第3期横浜市教育振興基本計画（平成30（2018）年策定）

平成30（2018）年策定の「横浜教育ビジョン2030」の具現化に向けたアクションプランとして、令和4（2022）年度までに進める施策や取組をまとめたものです。

このうち、図書館に関係するのは、柱11「施策1 ② 読書活動の推進」と、「施策2 図書館サービスの充実」です。



(2) 第二次横浜市民読書活動推進計画（令和元（2019）年策定）

「横浜市民読書活動推進計画（平成26（2014）年策定）」は、乳幼児から高齢者まですべての横浜市民の読書活動を総合的に推進するため、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」等に基づいて策定しました。「第二次横浜市民読書活動推進計画」は、「読書バリアフリー法」の施行など、社会情勢の変化等をふまえて策定したものです。

図書館は、読書活動の中核の場として全体に関わりますが、特に「成人の読書活動の推進と担い手の拡大」「読書活動の拠点の強化と連携」に取り組みます。



(3) 横浜国立図書館運営実行プラン（令和2（2020）年策定）

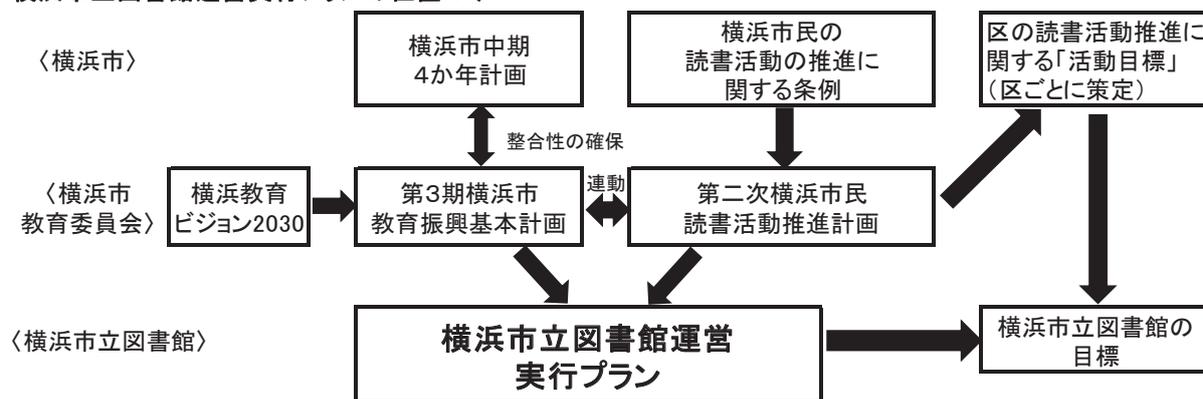
「横浜国立図書館アクションプラン（第2期）」に代わる横浜国立図書館の中期計画です。上記(1)(2)の2計画を受け、策定されました。計画期間は、「第3期教育振興基本計画」と連動し、令和4年度までです。

横浜国立図書館には、アクションプランのほか、蔵書に関する計画、児童サービスに関する計画がありました。「横浜国立図書館運営実行プラン」は、この3つの計画を統合し、一体のものとして効果的・効率的に取り組みます。

このプランの進行管理のため、年度ごとに「図書館の目標」を策定し、進捗状況の確認を行い、「第3期教育振興基本計画」、「第二次横浜市民読書活動推進計画」の成果指標等の達成を目指します。



横浜国立図書館運営実行プランの位置づけ



横浜国立図書館運営実行プラン 3つの重点項目 「第3期横浜市教育振興基本計画」柱11の「図書館サービスの充実」（施策2）を受け、方向性を決めました。	誰もが利用しやすい図書館づくり
	子どもの読書習慣の定着への支援
	蔵書とレファレンスの充実